

はぐはぐ

ちいさく生まれた こどもとかぞくのおはなしくらぶ

つむぎ広場 ちっ♡ちゃ

- ▶対象者
 - ・2,500グラム未満の低出生体重児や妊娠37週未満の早産児とその家族
 - ・双子以上の出産を予定している妊婦
 - ・生まれた赤ちゃんがNICU（新生児集中治療室）に入院している家族

▶日時 3月8日⑩ 10時～11時30分
※ 4月以降の予定は、お問い合わせを。

▶場所 福祉センター2階

☎子育て・健康課子育て支援係 ☎985-4189（よいはぐ）



お友達もたくさん！



ママのリクエストで記念の手形をペタッ



パパも大歓迎！



専門職に相談できる！



また会おうね～



「つむぎ広場 ちっ♡ちゃ」という愛称は、第1回に参加したメンバーで決めました。

Interview 「つむぎ広場 ちっ♡ちゃ」でお待ちしています



子育て・健康課子育て支援係 加藤 李奈 保健師

松前町で生まれる子どものうち、およそ1割の子どもは、小さく生まれたり、予定日より早く生まれたりしています。小さく生まれた子どもたちの家族は、子どもが生まれてからたくさんの不安や困難を抱えたまま育児を始めることに。

そんな家族がその思いを話したり、情報を集めたりすることができる場として誕生したのが、「つむぎ広場 ちっ♡ちゃ」です。

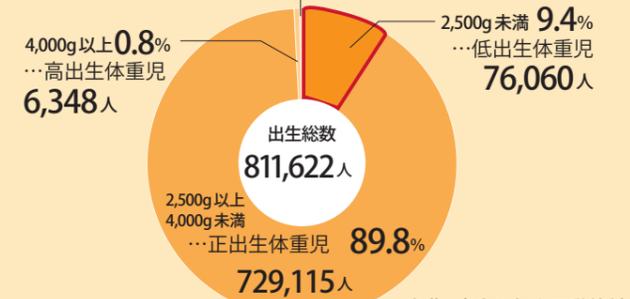
うれしいこと、楽しいこと、困ったこと何でもお話しに来てくださいね。

出生時の平均体重はどのくらい？

厚生労働省の「令和3年人口動態統計」によると、出生児の平均体重は、3,000グラム。2,500グラム未満の低出生体重児は全体の9.4%です。

低出生体重児は、出生後に医療的ケアが必要となる場合が多く、発育や発達の遅れなどのリスクが高いといわれています。

【出生時の体重(全国)】



出典：令和3年人口動態統計

Case2

二人の
生きる力、
可能性を信じて
成長を見守る

あべとよこ
阿部登誉晃さん
はるま
葉琉真くん(写真㊤)
かけ
翔華琉くん(写真㊤)

個々の成長を温かい目で見守る
ママが集まったちっ♡ちやが大好き



Case1

不安なことは
たくさんー。
だけど、
家族で毎日
笑って過ごしたい

はしもとえみ たけとら
橋本栄美さん 武虎くん

ちっ♡ちやで聞ける
他のママの経験が参考になる



兄：葉琉真くん㊤体重 1,019 グラム、身長 37.3 センチで生まれる。弟：翔華琉くん㊤体重 1,001 グラム、身長 35.3 センチで生まれる。共に生後 60 日目の様子

双子を出産
子宮口が開いてきたため、医師から「今、生まれたら赤ちゃんを助けられない」と言われた登誉晃さん。妊娠20週で入院しました。入院が続く中、令和3年9月4日、陣痛が止まらなくなり、緊急帝王切開で葉琉真くんと翔華琉くんを出産(27週6日)。
登誉晃さんは、「生まれた時、泣き声が聞こえて安心したけれど、小さく生んでしまった悔しさもあった」と振り返ります。葉琉真くんと翔華琉くんは、自発呼吸はありましたが、油断できない状況ですぐにNICUに運ばれました。



体重 2,472 グラム、身長 45 センチで生まれた武虎くん。生後3日目の様子。小さな手でギョッ。武虎くんは、NICUで1カ月過ごした

不安の中、突然の出産
胎盤が子宮の入り口を覆ってしまいう前置胎盤の診断を受けていた栄美さん。妊娠28週の時、突然出血し入院しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、家族との面会もできず不安な入院生活を送る中、令和3年11月24日、再度出血。緊急帝王切開で、武虎くんを出産しました(33週4日)。
栄美さんは、保育器に入っている武虎くんを見た時のことを、「すごく小さかった。たくさんの管がつながれていたので、ごめんねと思った」と振り返ります。



お家に帰った日に、お姉ちゃんとパチリ。この日から、お姉ちゃんの口癖は、「弟のためだったら、何でもする!」にー。葉琉真くん㊤はわんぱくに、翔華琉くん㊤は穏やかに成長中

心配より準備が大切
産後、1週間で退院した登誉晃さん。3カ月後に二人が退院するまで、病院から電話がかかってこないか不安な日々が続きました。6歳まで経過観察が続きますが、「発達に遅れがあったときに、早く気付いて受け止めたい」との思いから「ちっ♡ちや」に参加し、他のお母さんとの交流を楽しみながら、成長を見守っています。
「あなたが頑張ったから二人が大きくなったんよ」という母からの言葉は、登誉晃さんの心の支え。葉琉真くんと翔華琉くんを支える準備は万端です。



武虎くん1歳1カ月。歩く練習を頑張っている。パパと遊ぶのが大好きで、何でも食べて元気いっぱいな男の子

不安は笑顔で乗り越える
「医師からは、『発達が少し遅いと思う』と言われたけれど、今は気になる遅れはない」と話す栄美さんですが、不安なことは他にもたくさん。そんな栄美さんを支えているのは、何でも話せる家族や友達です。
武虎くんのことを見つけて、「毎日不安なことだらけだけど、やっぱりかわいい。笑って過ごせば、楽しいことがある」とほほえむ栄美さん。武虎くんが、いろいろなことに挑戦できる子になることを願って、これからも笑顔で育児を続けます。

Case4

小さく
生まれたって
こんなに元気。
たくさんの笑顔
を見せてくれる

いなもと ちえ
稲本千恵さん りみちゃん



アットホームなちっ♡ちや
子どもの交流の場としてもオムネ

Case3

我が子は
世界で一番
大切な存在。
共に生きていける
ことが幸せ

ほりうちともみ たける
堀内知美さん 尊くん



♡ちやは「心のよりどころ」
ちっ♡ 早産児の悩みを共有できる

体重602グラム、
身長30センチ
で生まれたりみ
ちゃん。
生後100日目
の様子。につこ
り笑顔のナイス
ショット!



奇跡の産声
令和2年7月6日、定期健診で、子宮口が開いていることが分かり、入院することになった千恵さん。妊娠すると、子宮の出口付近にポリープができる体質で、出血しやすくなるなど、妊娠・出産にはリスクが伴います。7月30日、「今日陣痛がききうだから、産みましょう」という医師の一声で緊急帝王切開が行われ、りみちゃんが誕生(22週6日)。麻酔がうまく効かず、意識がもうろうとする中、りみちゃんの産声を聞いた千恵さん。「泣いた。良かったと思つて涙が出た」と振り返ります。

奇跡の産声



体重659グラム、身長31センチで生まれた尊くん。生後75日目の様子。この日はクリスマス。NICUの看護師から、ママへ『初めての抱っこ』がサプライズプレゼントされた

想像と違った出産
切迫流産で入院を繰り返していた知美さん。妊娠21週で入院し、令和2年10月11日、突然陣痛が始まり、緊急帝王切開で尊くんを出産しました(24週5日)。
出産直後、医師からは、「お母さん、赤ちゃん預かるね」と言われただけで、尊くんには一目も会えず。早産のリスクが頭をよぎり、「お願いだから、この子を助けてください」と願うばかりだったという知美さん。翌日、初めて会えた保育器の中の尊くんは、両手に収まるくらいの大きさでした。

想像と違った出産

りみちゃん2歳5
カ月。音楽が流
れると踊ったり、歌
ったり。絵本も大
好き。いつも笑顔
のムードメーカー



笑顔の連鎖
千恵さんが退院してから数日後、医師から「りみちゃんの腸が破裂したので手術する」という連絡が。手術は無事終わり、それ以降は大きな病気をすることもなく、元気に成長したりみちゃん。12月29日、家族が待つ家に帰ることができました。「不安もあつたけど、りみの笑顔に支えられた。小さく生まれただけど、今はこんなに元気です」とほほえむ千恵さん。りみちゃんの笑顔には、周りの人たちのことも笑顔にする力が。これから大きく成長していきます。

笑顔の連鎖



尊くん2歳3カ月。
絵本とイチゴの
ショートケーキが大
好き。それよりも好
きなものは、何とい
ても「ママ」

一緒に生きられる幸せを感じて
約5カ月をNICUで過ごした尊くん。その間、知美さんは3時間おきに搾乳をし、毎日病院に母乳を届け、完全母乳で尊くんを育てました。「尊が早く退院できますように」という願掛けの意味もあつたと振り返る知美さん。尊くんが退院してからも「大変だと思ったことはない。一緒に生活できることがうれしい」とほほえみます。現在、働いている知美さん。仕事の日、尊くんの二人の祖母が育児をサポートしてくれます。これからも大切な尊くんを家族全員で支えていきます。

一緒に生きられる幸せを感じて